

2019年度

# 学校関係者評価報告書

評価対象期間 自：2019年4月 1日

至：2020年3月31日

都築教育学園

鹿児島第一医療リハビリ専門学校

## 目 次

1. 目 的	.....	2
2. 評価項目	.....	2
3. 評価組織	.....	2
4. 実施の概要	.....	2～3
5. 細部実施事項	.....	3～4
6. 評価結果	.....	4～5
7. 総 括	.....	6

別 紙「学校関係者評価アンケート結果」

## 1 目的

次の目的をもって学校関係者評価を実施した。

- (1) 学校運営について評価して頂き、今後の改善を図る上での資を得る。
- (2) 学校としての説明責任を果たし、学校運営に関する理解と協力を得て、より良い学校づくりを進める。
- (3) 頂いた評価を下に改善措置を講じることにより、教育の質の向上を図る。

## 2 評価項目

次の項目について、関係法令等に基づき法規・適正に効率的に行われ、所望の効果をj得ているかを評価して頂いた。

- (1) 学校運営
- (2) 教育活動
- (3) 教育成果
- (4) 学生支援
- (5) 学習環境
- (6) 募集広報
- (7) 学校評価
- (8) 情報公開

## 3 評価組織

- (1) 評価委員（個人名は略）
  - ア 委員長：学校後援会会長
  - イ 委員：理学療法学科 保護者  
作業療法学科 保護者  
言語聴覚学科 保護者  
柔道整復学科 保護者  
はり・きゅう学科 保護者
- (2) 学校教職員
  - ア 教学部長、各学科長及び各学科教員
  - イ 事務局：事務長以下、事務職

## 4 実施の概要

- (1) 実施時期・場所  
2020年4月19日（日） 鹿児島第一医療リハビリ専門学校
- (2) 実施事項
  - ア 全般説明
  - イ 各学科の公開授業
  - ウ 教育施設・設備及び教育研究機器類の確認（実視）

- エ 評価アンケートの記入
- オ 各評価委員による所見開陳
- カ 懇談

## 5 細部実施事項

### (1) 全般説明

次の事項について、学校の現況、取り組みなどについて説明を行った。

- ア 新型コロナウイルス感染拡大に伴う本校の対応
  - (ア) 感染拡大に応ずる対応の基準
    - (イ) 感染防止のための取組
- イ 学校の状況・実績
  - (ア) 学生の在籍状況等
    - (イ) 休学・留年・退学の状況
    - (ウ) 国家試験合格状況
    - (エ) 卒業生の就職状況
- ウ 学生教育に係る取り組み
  - (ア) 3つのポリシー  
(アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー)
    - (イ) カリキュラム改正への対応
    - (ウ) 教育要領の改善
    - (エ) 卒業後のフォロー
- エ 学生支援
  - (ア) 修学・生活環境の整備、就職支援
    - (イ) 学費・奨学金等
- オ 健康管理・安全管理
  - (ア) 学生の健康管理
    - (イ) 学生の安全管理
- カ 学校組織・業務等
- キ 学校評価
  - (ア) 学校評価の概要
    - (イ) 学校評価の結果
- ク 情報公開
- ケ 令和2年度学校運営
  - (ア) 方針・重視事項
    - (イ) 学校としての主要な取り組み

### (2) 各学科の公開授業

次のとおり、各学科長等の随行・説明の下に各学科の授業を評価委員に公開し、カリキュラムに基づく教育の実施状況、特に、教育内容、教育要領（教育型式・方法等）、教員

の資質・能力等について評価して頂いた。

- ア 理学療法学科 : 運動療法学Ⅰ (2年)
- イ 作業療法学科 : 作業療法評価法Ⅰ (1年)
- ウ 言語聴覚学科 : 機能性構音障害 (2年)
- エ 柔道整復学科 : 柔道整復臨床実技 (3年)
- オ はり・きゅう学科 : 臨床医学各論Ⅱ (3年)

### (3) 教育施設・設備及び教育研究用機器の確認(実視)

次のとおり、各学科長の随行・説明の下に各学科の主要な教育施設・設備及び主要な教育研究用機器類を評価して頂いた。

- ア 理学療法学科 : 機能訓練室、基礎医学実習室、水浴室、装具加工室
- イ 作業療法学科 :  
日常動作訓練室、木工・金工・陶芸教室、織物・手工芸・絵画教室、装具加工室
- ウ 言語聴覚学科 : 聴力検査室、観察室・訓練室
- エ 柔道整復学科 : 柔整実技実習室、付属整骨院、付属柔道場
- オ はり・きゅう学科 : はり・きゅう実技実習室、付属鍼灸院

### (4) 評価アンケートの記入

学校運営に係わる各評価項目(8区分・24項目)に対し三択方式(「適切になされている。」、「改善すべきところがある」又は「わからない」の三択)によるアンケートを実施するとともに、学校運営上の改善意見・要望等について、自由意見を記入して頂いた。

### (5) 各評価委員による所見開陳

評価結果及び学校関係者評価の実施に関する所見について、各評価委員から所見を開陳して頂いた。

### (6) 懇談

学科ごとの懇談形式により、当該学科担当の評価委員と学科長及び教員との間で、学校運営や学生教育について情報交換・意見交換を行った。

## 6 評価結果

### (1) 学校運営

「運営方針・事業計画等は策定されているか。」、「運営組織等は組織され機能しているか。」及び「学生本位の業務運営はなされているか。」の全項目に対し、「適切になされている。」との評価を頂いた。

### (2) 教育活動

「学科ごと到達可能な目標は確立されているか。」、「カリキュラムは体系的に編成されているか。」、「授業評価、公開授業等により教育の質の向上に努めているか。」、「科目に応じた教員を確保しているか。また、その能力・資質は適切か。」及び「卒業・進級基準は明確になっているか。」及び「個々の学生に応じた教育・指導はなされているか。」の6項目については、「適切になされている。」との評価を頂いた。

ただし、「各学科の課程編成（クラス定員）は守られているか。」については、「改善すべきところがある。」との指摘を1件頂いた。これは、理学療法学科及び言語聴覚学科の1年生のクラスが定員を超過しているためであり、来年度以降の募集において是正する。

### (3) 教育成果

「就職率の向上は図られているか。」、「資格取得率の向上（国家試験対策等）は図られているか。」、「留年・退学者の抑制のための努力はなされているか。」及び「卒業後のフォローはなされているか。」の全項目に対し、「適切になされている。」との評価を頂いた。

### (4) 学生支援

「学生相談への対応はなされているか。」、「学生の経済的側面に対するフォローはなされているか。」及び「学生の健康管理について措置はなされているか。」の全項目に対し、「適切になされている。」との評価を頂いた。

### (5) 学習環境

「学外を含めた実習・実践教育はなされているか。」及び「安全管理に関する措置はなされているか。」の2項目に対し、「適切になされている。」との評価を頂いた。

ただし、「施設・設備は教育に対応できるよう整備されているか。」の項目については、「備品・機器類の損耗・老朽化への対応が必要」及び「図書室の利便性の改善が必要」などの改善意見2件を頂いた。指摘のとおり、本校の教育施設・設備及び教育用研究機器は老朽化が進んでいるため、優先順位に応じて逐次整備していく。

### (6) 募集広報

「学生募集は適切に行われているか。」及び「入学選考は適切に行われているか。」の全項目に対し、「適切になされている。」との評価を頂いた。

### (7) 学校評価

「適切な自己評価・自己点検」の項目に対し、「適切になされている」との評価を頂いた。

### (8) 情報公開

「必要な情報の提示提供」の項目に対し、「よく分からない。」との評価を1件頂いた。これは、ホームページなど情報公開の具体例の説明不足によるものであり、適宜、補足してご理解頂く。

### (9) 自由意見

学校運営、特に本校の取り組みについて肯定的な意見を頂くとともに、様々な改善意見やご要望を頂いた。主要な改善意見については、次のとおり。

ア 更衣室のロッカーの間隔が狭く、学生が使い辛いと感じたので改善できないか。

イ 容儀を整え、日々の学習への取り組み意識を学生が高めるため、姿見を設置してはどうか。

ウ 学生寮の利用拡大は非常に良い取り組みであり、引き続き、学生に周知してもらいたい。

エ 厳しい募集環境にあるが、入学者の確保のため情報発信に工夫をお願いします。

オ 同じ学園の大学や短大の施設・設備（カフェテリア、図書館など）を活用するとともに、教員間の交流を活発化させるなど、より一層連携していくことが有益である。

カ 一般の保護者に対しても、保護者説明会や学科だよりなどの形で、是非、今回のような情報を発信して頂きたい。

## 7 総括

- (1) 昨年度の学校関係者評価に引き続き、令和元年度は2回目の評価となったが、昨年度同様、実施事項・内容及びその要領等を含め評価の取り組み自体については、全ての評価委員から高い評価を頂いた。本校としても、学生教育をはじめとする学校運営全般について、学校関係者への説明責任を果たすとともに、これら関係者のご理解とご協力を得る貴重な機会となったことは大変有意義であった。
- (2) 評価項目の殆どに肯定的な評価を頂き、「わからない。」との評価が昨年度5件から1件に減少した。

ただし、施設・設備の整備に関する評価は昨年度と同様、3件の改善意見を頂いている。特に、教育用機器類や備品類の老朽化の指摘は、昨年度から継続しており、また、学生教育・生活に直結する事項であるため、限られた経費の中で優先的に整備を進める必要があると思料する。
- (3) 今回の学校関係者評価を通して各関係者から頂いた貴重なご意見・要望については、対応可能なものは速やかに措置を講ずるとともに、時間と経費を要するものは、できることから逐次改善を図り、更なる学校運営の充実、教育の質の向上に努めていくこととする。
- (4) 次年度の学校関係者評価においては、今回の実施内容・要領を踏まえ、学校の現況や新たな取り組みについてより理解を深めて頂くとともに、幅広く貴重な意見等を頂けるよう、引き続き改善を図っていく。